

# 有形文化財 建造物

市指定

あきとみじんじゃ とうしょうぐう  
飽富神社及び東照宮

所在地：飯富2863

所有者・管理者：飽富神社



平安時代初期に編集された『日本三代実録』<sup>にほんさんだいじつろく</sup>という歴史書や、『延喜式』<sup>えんぎしき</sup>という法令集のなかに飽富神社の名が記されています。社伝によると綏靖天皇元年、天皇の兄、<sup>かむや いみのみこと</sup>神八井耳命が創建したといわれ、農耕の神である倉稲魂命<sup>うかのみたまのみこと</sup>を祀っています。現在の社殿は、元禄4年（1691）に再建されたもので、文化年間（1804-1817）に修理が行われています。

東照宮は、飽富神社境内の北東にあり、旗本天野佐左衛門光得が、元和8年（1622）4月に久能山から勧請し、元治元年（1864）に再建したものです。四面に緻密な彫刻が施されています。



拝殿 中備 龍の彫刻

龍の裏面には、作者、後藤傳吉郎住兼の銘を見ることが出来ます



東照宮



東照宮に施された彫刻